



# 世界の ミカタイムズ



発行：学校から世界のミカタを考える会

おかげさまでミカタイムズも2年目に突入しました！ありがとうございます！

## あけましておめでとうございます！

2017年が終わり、新しい年が始まりましたね。昨年はどんな年でしたか？

日本漢字能力検定協会が毎年発表している2017年の「今年の漢字」は「北」でした。

九州「北」部豪雨、ポテトチップス不足をもたらした「北」海道のじゃがいも不作、有馬記念も獲った「キタ」サンブラックなどの多くの意味が含まれているようですが、それ以上に「北」からイメージされるのは「北」朝鮮ではないでしょうか？日本の上空を飛び越えたミサイルに「いつ落下してくるか分からない」という不安に駆られた方もいるでしょう。しかし、過去にも日本上空を通過したことを覚えていますか？1998年にも通告なしで上空を通過して、その時も大きなニュースになりました。

話題になったニュースは誰しもその時は関心を持ちますが、簡単に忘れ去られます。

また、核開発についてのニュースも北朝鮮が核実験を度々繰り返す悪の帝国であるかのような報道がほとんどですが、北朝鮮を最も非難しているアメリカがこれまでに繰り返した核実験の回数は1000回を超えるのに対して、北朝鮮の核実験は2017年のもので6回目、代理実験を含めても7回目です。さらに、アメリカは実戦で核を使った国です。

「北朝鮮に制裁を！」と感情的になる国際社会は、北朝鮮が核に頼らなければいけないぐらい困窮しているというもう一つの側面については目を背けています。

ニュースは情報です。情報は読み解くものです。つまり、「目にする」「耳にする」といった受け身な姿勢ではなく、能動的に「考える」べきと私たちは考えます。

「深い学び」を促すための「見方・考え方」というのは次期指導要領のキーワードの一つで、各教科にまたがって頻出する概念です。きっと、教育関係者にとって、今年は「ミカタを考える」1年になるのではないのでしょうか。

1月で「学校から世界のミカタを考える会」は活動開始から3年目、ミカタイムズは創刊から2年目に突入します。

今年も昨年と変わらぬ、ご支援とご協力をよろしくおねがいたします。

### 【お知らせ】

学校から世界のミカタを考える会の2周年を記念して1月中旬にホームページやメールアドレス等の変更を予定しております。時期が来ましたら旧ホームページ上でもお知らせをしますので、ブックマークの変更等よろしくおねがいたします。



第9回ユネスコスクール全国大会  
/ESD研究大会に参加してきました。

昨年のことですが、福岡県大牟田市で開催されたユネスコスクール全国大会/ESD研究大会に参加してきました。大会での2つの大きな学びについてレポートします。

・現場の声が聞けたこと

参加しているのはESDの推進拠点であるユネスコスクールの先生たちがほとんどでした。せっかくの機会なので各校の取り組みの実際について聞き取りをしたところ、

「何をしたいかわからない」

「仲間もない」「手探り状態で孤軍奮闘している」

「なんかわからんけれど担当者として押し付けられた」

といった、悲鳴に似た声が多く聞こえてきました。

ユネスコスクールですらこのような状態であるので、おそらく一般の学校においてESDの導入ハードルがいかに高いかを推して測ることができました。

・次期学習指導要領でESDが大きな比重を占めていること

プログラムの中で、文部科学省からが次期学習指導要領におけるESDの取り扱いについて説明をする時間があり、その中で、「持続可能な社会の創り手」を育てることが前文に明記されていることと、それはつまり最重要課題と認識してほしいという発言がありました。

これら二つのことから、ESD的な活動や考え方がまだまだ現場では追いついていないこと、そしてそれらは今後指導要領の改定をきっかけに益々重要性を増すであろうことが予想されます。

空前のダイエットム！  
ミカタマンが



今月の写真

ここはどこでしょう？



ヒントはテレビによく映る場所です。

拡大した画像はホームページにあります。  
バックナンバーと合わせてどうぞ。  
「世界のミカタを考える会」で検索！

一児の母となり、クリスマスやお正月の役割が変わってきました。クリスマスはプレゼントを買い、お正月はお年玉をあげる…

昔はもらう側だったのに今ではあげる側です。しかし、台湾では日本のようにあげばなしではないことをご存知でしたか？台湾では毎年お正月に「紅包（ホーンパオ）」という赤いお年玉袋で親から子へお金を渡します。しかし、成人し自立すると、今度は子から親へ毎年お年玉を渡すそうです。しかも、親に渡す額は、今まで親からもらった金額より多くするのが風習だとか。

立場が変わることで、子の自立を実感することができる台湾のお年玉、私は好きです。

似たような風習なのに、こんな違いがあるなんて面白いですね！



ちなつママの  
グローバル子育て日記